

令和5年12月伊那市議会定例会 請願・陳情文書表

令和5年11月17日

番 号	件 名	付託委員会	紹 介 議 員
212-1	国に対し「健康保険証廃止の中止を求める 意見書」の提出を求める陳情（陳情）	社会委員会	

<趣旨説明希望一覧>

番 号	件 名	趣旨説明
212-1	国に対し「健康保険証廃止の中止を求める意見書」の提出を求める陳情（陳情）	希望なし

伊那市議会議長 白鳥 敏明 様

(212-1) 国に対し「健康保険証廃止の中止を求める意見書」
の提出を求める陳情（陳情）

【陳情の趣旨】

政府は、2024年秋に健康保険証を廃止する方針に変わりがないことを表明しました。

マイナンバーカードを巡っては、本人以外の公的給付金の受取口座の誤登録やマイナ保険証に他人の情報が登録されたケース、医療機関に設置されている資格認証機器のトラブルなどが全国で相次ぎ、個人情報漏洩という重大な問題が起きています。

そもそも、マイナンバーカードの取得は任意なのですから、健康保険証の廃止でマイナンバーカードの取得を強制すべきではありません。

こうしたなか、保険証廃止に対する国民の不安は日増しに高まり、マスコミ各社の世論調査でも延期や撤回を求める声は7割以上に上っています。

また、高齢者や障がい者などの社会的弱者がマイナンバーカードの手続き・取得・管理ができず、健康保険証を持たない人を制度的につくりだしかねない重大問題が明らかになりました。

更に「マイナ保険証を持たない人全員に一定期間、資格確認書を発行する」との対応は、自治体や健保組合に新たな事務作業が生じ多大な混乱を生むものと言えます。

私たちは、政府に対し、健康保険証廃止の中止を求めるとともに、国の責任で、すべての国民にこれまでどおり健康保険証を交付するよう強く求めます。

以上の事から貴議会として地方自治法第99条に基づき下記の事項について国に対して意見書の提出をしていただきますようお願いいたします。

記

【陳情項目】

1. 来年秋から予定している健康保険証の廃止を中止すること。

以上